

阿智村教育委員会 令和2年11月定例会会議録

○ 会議日時 令和2年11月19日(木) 午後1時30分

○ 会議場所 阿智村中央公民館 会議室

○ 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：原 勝人
委 員：原 彰彦 委員：熊谷 歩

【事務局】

教育次長：熊谷修一（全体進行）

公民館兼社会教育係長：川上 悟 子育て支援室長：島岡佐喜子

保育園総園長：原 満 学校教育係：熊谷 宏

学校教育専門主事：羽生武彦 学校教育専門主事：川上清宏

欠席 学校給食係長：石原哲成

1 教育長あいさつ

- ・村議会選挙で新たな議員10名が誕生した。
- ・長野県民新聞の記事から
長野県は不登校の割合が高い。本村でも高い傾向にある。私立高校、定時制高校の志願率が過去最高になった。県外高校への進学率も5年連続で2%を超えている。なぜ、このような傾向にあるのか。保護者や生徒のニーズ、学校の魅力化が大きな要素になっている。私立学校では時代の変化に合わせてスピード感を持って学校経営に取り組んでいる。
- ・令和3年度の予算編成は例年より1月早い前倒しとなった。それに合わせて各学校のヒアリングもまもなく開始したい。
- ・チャレンジゆう Achi のトップアスリート講演会が先日開催された。柔道の世界選手権優勝者出口クリスタ選手を招き、有意義な講演会となった。関係者のご労苦に感謝申し上げます。

(原彰彦委員)

私立と公立では基本的に違うのではないかと。内容をしっかり見極めながら、公立ではいろいろな子どもたちがいる中で、ニーズに合わせてということはその通りだと思うが、公立と私立を比べることは難しいのではないかと。参考にすることは良いけれども、公立は保護者の気持ちを考えながらどうすればよいかわどしりとじっくりやっていく必要がある。スピード感と言われたが、じっくり腰を落ち着けてやっていくことも必要ではないかと思う。

2 議事事項

(1) 12月教育委員会関係補正予算について

- ・保育園総園長説明
- ・原案承認

3 協議事項

(1) 新型コロナウイルス感染症が発生している地域との往来について

- ・教育次長説明

(原彰彦委員)

7日間ということだと通年合宿センターの子どもも該当になるのか。

(教育次長)

行った場合は該当になる。

(原彰彦委員)

10万人当たり5.0人、2.5人という数値はどこかで発表があるのか。

(教育次長)

毎日、新聞に掲載されています。

(2) ICT教育の今後の推進計画について

- ・教育次長説明
- ・川上学校教育専門主事補足説明

(原彰彦委員)

インターネットの補助の関係はどのくらいになったか。

(教育次長)

本日申請書類を学校に配布したので、これから申請が始まります。

(原勝人委員)

リモート学習全体が完全に始まるのは今年度中と見てよいか。

(川上学校教育専門主事)

今年度中は無理である。1人1台のタブレットが揃ってこないとそういったことができないし、インターネット環境がないと家庭に持ち帰ってもなかなか苦しい。見込みとしては来年度に入ってからになると思う。

(原勝人委員)

オフラインでも家庭に持ち帰らせて触ってみたり家庭学習の内容を入れてそれを基に取り組むところから始めて、できるところから始めていただきたい。

(教育長)

現在何らかの形で貸し出しをしているのは飯田市と阿智、喬木の3市村である。

(川上学校教育専門主事)

オフラインでもEライブラリーのドリル学習や学校でのプリントを取り込んだ学習、スタディーノートはできるようにしてある。

(熊谷歩委員)

不登校の子どもたちに貸し出しはするのか。

(川上学校教育専門主事)

学校でも声が上がっている。特別支援教育でも活用でき使用している。一緒に推進していくところです。

(子育て支援室長)

教育支援センターに来ている子どもは不登校の時間が長く、勉強が抜けているところがある。パソコンを使ってその勉強をしている。かなり効果があると感じている。

(3) 生活・生徒指導上の課題について（非公開）

(4) 中学校キャリア教育の推進について

・羽生学校教育専門主事説明

(原勝人委員)

ニュースで伊那市の中学校でブースでの体験について扱っていた。今日、示された方向に沿って教育委員会がバックアップして進めていくことが大事だと思う。私の経験では保護者や地域との連携について、子どもたちはこのような体験をしてみたいが、地域にはこのような職種がなかったりして、他に変更してもらい興味関心が広がらずに職場体験学習が終わってきたことがある。子どもの希望を実現させるような大胆な取り組みをしてみたらよいのではないかと。子どもたちだけではできないし、学校だけでできる問題ではない。放課後子ども教室も進められているので、放課後の実体験の中にもキャリア教育の視点も必要で、教育委員会が関わっていく大事な要素である。地域の商店街とタイアップした色々なやり口はあると思う。色々な視点からご提案いただければありがたいと思う。

(教育長)

北部の町村では飯田市とタイアップする中で、自分の自治体だけではカバーできない部分を補うようにしていると聞いた。

(羽生学校教育専門主事)

飯田市の旭ヶ丘中学では昼神温泉に体験に来たりしている。飯田市の場合は専門の部署があり開拓してくれる。阿智村も教育委員会だけでなく、他の部署や商工会の協力をいただき、村以外と連携していくことが大事だ。

(子育て支援室長)

今後アンケートを取って募っていききたい。子どもたちがしたい体験が狭まっている。実体験を重ねていくことを大事に取り入れて考えていきたい。

(原彰彦委員)

小学校におけるキャリア教育も考えていく必要があるのではないかと。

(5) その他

4 報告・連絡事項

(1) 各係からの報告

①新放課後総合プラン計画準備委員会の開催について

- ・子育て支援室長説明
- ②第2回英語検定の結果について
 - ・教育次長説明
- ③教育文化協議会について
 - ・学校教育係説明
- ④飯伊小中学校退職教員等の再雇用について
 - ・教育長説明
- (2) 12月定例教育委員会の開催について
12月25日(金) 午後1時30分
- (3) その他

(閉会 午後4時15分)

教育長・教育委員 署名／捺印